科目ナンバー	LIN-2-013-	ky		科目名	手話の理語	論と実際 I			
教員名	岡田 智裕			開講年度学期	2020年度 前期		単位数	1	
概要		を学ぶ方を対象とし とについても学んでに		内容を中心に学	んでいく。	また、手話が	だけでなく、そ	ろう者の生	
到達目標	ュニケーション	と学び、手話でコミュ ンを図るだけでなく、 などを学び、手話と	手話の文法	や日本手話の方	方言、身振(
「共愛12のカ」と	 の対応								
識見		自律する力		コミュニケーションカ		問題	問題に対応する力		
共生のための知識	哉 〇	自己を理解する力	0	伝え合う力	0	分析	し、思考する	カ	
共生のための態度	隻 〇	自己を抑制する力		協働する力	0	構想	し、実行する	カ	
グローカル・マイ ンド		主体性		関係を構築する	3カ 〇	実践	的スキル	0	
教授法及び課題のフィードバック方 法	ライドを中心	はじめての手話 初か いに進めるが、適宜、 との接し方に慣れて	ホワイトボー						
アクティブラーニン	ング	サービス	ラーニング		課題	解決型学修	Ş		
受講条件 前提 科目	手話に関心	を持ち、手話でコミュ	ュニケーショ	ンを図りたいと者	考えているプ	5 .			
アセスメントポリ シー及び評価方法	ま レポート、註	【験、学習意欲・学習	態度などに	よって評価する。	•				
教材		市田泰弘(2014)『ぱ 650000276	女訂新版 は	じめての手話 初	歩からやさ	しく学べる	手話の本』生	活書院ISB	
参考図書	必要な資料	lは授業時に配布する	5.						
内容・スケジュー	ル								
1週目									
授業学修内容	ガイダンス、手	話の初歩的な表現							
授業外学修内 容						F	時間数		
2週目						•	•		
授業学修内容	手話による自己	己紹介、自分の名前	や指文字、数	数字の表現					
授業外学修内 容						F	時間数	1	
3週目						•	•		
授業学修内容	基本的な質問	の仕方と答え方、「時	持」の手話表	現、指さしの使に	八方				
授業外学修内 容						F	時間数	1.5	
4週目						-			
授業学修内容	日付、現在進行	う形の表現、曖昧な	数字の表現	<u>方法</u>					
授業外学修内 容						F	時間数	1.5	
5週目									_
授業学修内容	家族の紹介、男	完了と未完了、Buoy	と「~ため」	の使い方					
授業外学修内 容						B	時間数	1	
6週目						l	<u>I</u>		_
ı	都道府県、いる	ら・住んでいる、育つ、	起点·終点	の表現					_
						F	時間数	1	

7週目							
授業学修内容 第1回〜第6回の講義のまとめ							
授業外学修内 容		時間数	1				
8週目							
授業学修内容	「毎週〇曜日」や第〇×曜日の表現						
授業外学修内 容		時間数	1				
9週目							
授業学修内容	容 時刻、昨日・今日・明日の表現、「~した」「~しない」「~したことがない」の表現、命令						
授業外学修内 容		時間数	1				
10週目							
授業学修内容	方法を尋ねる表現、距離、程度、条件節の表現						
授業外学修内 容		時間数	1				
11週目							
授業学修内容	レポートの解説、「できる」「できない」の表現と使い方						
授業外学修内 容		時間数	1				
12週目							
授業学修内容	経験「~したことがある」の表現、各国の表現						
授業外学修内 容		時間数	1				
13週目							
授業学修内容	経験「~したことがない」の表現、あまり使わない手話表現を用いる場合の使い方						
授業外学修内 容		時間数	1				
14週目							
授業学修内容	頻度「たまに」「時々」、「合う/合わない」、「必要/不要」の表現						
授業外学修内 容		時間数	1				
15週目							
授業学修内容	総復習						
授業外学修内 容		時間数	1				
上記の授業外学修時間の合計 15							
その他に必要な自習時間 45							

Number	LIN-2-013-ky			ice in Sign Language I		
Name	岡田 製碎(()kada Lomohiro)	Year and S emester	First semester fo r 2020	Credits	1	
utline 0	We learn Japanese sign language (Nihon Shuwa) in fundamentals. For example, introduce about oneself and question&answer, possibility&impossibility, past tense and so on.Other, we also lear n about Deaf culture.					